

棗庄市概況



- 【基礎情報】(2024年)
- 人口:380.5万人(省内13/16位)
 - 面積:4564km²(省内16位)
 - GDP:2386.41億元(省内16位)



【党委書記 空席】

(前任:張宏偉・河南省信陽市党
委書記)

【市長 翟軍】

1969年5月生まれ、済南出身
2023年3月～現職
(前任:張宏偉・棗庄市党委書記)

【歴史的エピソード】

- ◆黄淮地区(山東、江蘇、河南、安徽)で最古の北辛文化(新石器時代)が栄えた。
- ◆墨子(戦国時代の思想家)、魯班(大工の祖。春秋時代)の出身地。
- ◆地名は、昔この地に棗の林があり棗村と呼ばれていたことに由来。
- ◆唐代以来、炭鉱が有名で「煤城」と呼ばれた。民族資本で中国初の株式会社となった「中興炭鉱公司」(1878年創業)が所在。

【現在の特徴】

- ◆2009年以降、国務院の政策上のバックアップを受け、炭鉱都市から先進製造業の都市へと転換中。
- ◆近年はリチウム電池の産業チェーンで知名度を高め、「中国北方リチウム電池の都」と呼ばれている。
- ◆「中国のザクロの都」とも呼ばれ、ザクロの栽培面積や品種は中国最大。加工品の開発も盛ん。
- ◆特産・名物:ザクロ、臨城の桃、張家の狗肉、伏里土陶等。

【日本との関係】

- ◆在留邦人数:4人(2025年3月現在)
- ◆友好都市:山口県美祢市(1993年/2009年)
- ◆ODA:滕州市張汪鎮賈庄小学校建設計画(2012年)など
草の根・人間の安全保障無償資金協力3件の供与実績あり

【日本とゆかりのある地・施設】

◆台兒庄古城(台兒庄区)

古城は1938年に台兒庄戦役と呼ばれる日中戦争の市街戦が行われた場所であり、遺跡公園やモスク跡(清真古寺)など当時の弾痕が多く残る場所が点在している。



【観光地】

◆冠世榴園(嶧城区)

西漢時代から2000年の歴史を誇る国内最大のザクロ園。2023年には習近平国家主席も視察。加工品の研究開発にも積極的。



◆台兒庄古城(台兒庄区)

京杭大運河のほぼ中間に位置することから明清時代まで繁栄。国内最大規模の古城で「天下第一庄」と呼ばれる。



【グルメ】

◆辣子鷄

辛みの強い唐辛子と鶏肉を組み合わせた料理で、菜煎餅、羊肉湯とともに「棗庄三大美食」と呼ばれる。

